

# ○解剖学：509-2-DP1・DP3・DP4・DP8

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	近藤 信太郎（解剖学）

学修目標 (GIO) と単位数	<p>・単位数：7単位</p> <p>・学修目標 (GIO)：歯科医学の基礎となる人体の構造を理解し、ヒトのからだの一般的な形態を説明できる。</p> <p>講義においては、各器官系の系統解剖学を学修して、人体の全体的・系統的な構造を習得する。骨学および解剖実習においては人体構造の個体差と変異を理解し、臨床に必要な局所解剖学の知識を習得する。</p>
担当教員	近藤 信太郎、佐々木 佳世子、松野 昌展、五十嵐 由里子、*金田 隆、*小宮 正道、*河相 安彦、*大峰 浩隆、*小見山 道、*丹羽 秀夫、*村上 洋、吉垣 純子、加藤 治、*横山 愛、*野本 たかと、*遠藤 眞美、*矢口 学、※伊藤 泰司
教科書	口腔解剖学 第2版 脇田 稔、井出吉信監修 医歯薬出版 プラクティカル解剖実習 四肢 体幹 頭頸部 千田隆夫、小林一也 丸善出版 イラスト顎顔面解剖学 松村譲児、島田和幸 中外医学社
参考図書	ネッター解剖学 相磯貞和 訳 南江堂 解剖学カラーアトラス 横地千仞 医学書院 分担 解剖学 改訂第11版 (1～3) 小川鼎三、森於菟、森 富 金原出版 図解解剖学事典 第3版 山田英智 監訳、石川春律、廣澤一成、坂井建雄 訳 医学書院 プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部 第2版 坂井建雄、天野修 監訳 医学書院 グレイ解剖学 原著第3版 塩田浩平、瀬口春道、大谷浩、杉本哲夫 訳 エルゼビア・ジャパン 入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂
評価方法 (EV)	<p>【講義】2回の平常試験の合計によって評価する。ただし、1回目50%、2回目50%の比率とする。</p> <p>【実習】①実習室において実施するご遺体の解剖名称等を解答するものと②教室において実施する設問に解答するものの2種類の平常試験を2回行う。②については事前に学修課題を呈示する。2回の平常試験の合計によって評価する。ただし、平常試験は1回目40%、2回目60%とする。ただし、課題の未提出や遅提出および欠席を含む実習態度の不良が認められた場合は減点する。</p> <p>講義と実習の評価を各50%として総合評価をする。講義・実習それぞれ1/5以上を欠席した場合、評価点は0-60点とする。なお、講義・実習のそれぞれについて合格点 (60点) に達しない者に対し、再試験を行うが、講義・実習を1/5以上欠席した場合、再試験の受験資格を与えない。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>解剖学は医学・歯科医学の臨床において、最も基本的で必須の知識であり、人体の構造を知らない者が臨床に携わることは許されない。全身の解剖学を学ぶための時間は十分とは言えないが、与えられた時間を十分に活用し、正確な知識を身につけて欲しい。前学期の系統解剖学の講義では予習より復習に重点を置いた学習が効果的である。後学期の解剖実習では篤志家に献体いただいたご遺体を解剖させていただくことにより、前学期に座学で学んだ知識を確かなものとすると共に局所解剖の知識を学修する。必ず予習をして観察すべき構造の知識を正確なものとしておくこと。実習は解剖学の知識を身につけると同時に、医療者としての倫理観を学ぶ場でもある。諸君はご遺体に恥じぬよう真摯に学ばなくてはならない。</p> <p>10月26日(土)に築地本願寺において解剖体追悼法要が行われる。死後ご自身の体を解剖実習に供された方々に追悼と感謝を捧げる機会となる。必ず出席すること。</p> <p>後学期実習期間中に生理学講座、障害者歯科学講座と合同でグループ学習を行う。将来、重要な知識となる摂食嚥下の基礎・臨床の統合学修の場となるので、しっかり準備学習して演習に臨んで欲しい。オフィスアワーは講義・実習の行われた日の授業後とする。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/04 (木) 1時限 09:00～10:30	人体解剖学総論	<p>【授業の一般目標】 ヒトの体の成り立ちを理解し、身体の部位、方向用語を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞から器官系にいたる人体の階層構造を説明できる。 2. 人体の全身の区分を説明できる。 3. 医学・歯学で使われる人体の方向用語やその他の特殊な解剖用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」解剖用語 P.1～4、頭頸部の体表 P.89～93を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：人体の区分、方向用語、解剖用語等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/04 (木) 1時限 09:00～10:30	人体解剖学総論	<p>ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1) 身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/04/08 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 総論	<p>【授業の一般目標】 全身の骨格を学ぶために骨の形態的特徴を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 骨の形態的特徴と機能的意味を説明できる。 2. 骨の発生を説明できる。 3. 骨の連結を説明できる。 4. 全身の骨格を説明できる。 5. 全身の主な関節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」骨学総論 P.5～17, 関節学総論 P.31～36を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：骨学総論, 関節学総論等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 ③骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。 ④骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/04/08 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 脊柱・椎骨	<p>【授業の一般目標】 脊柱と椎骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 脊柱の構造を説明できる。 2. 椎骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」脊柱と椎骨等 P.7～10を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：脊柱と椎骨を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/08 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 脊柱・椎骨	<p>4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 c 頸椎</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2019/04/11 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 体幹・四肢	<p>【授業の一般目標】 胸郭、骨盤、四肢の各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 胸郭と骨盤を構成する骨の構造を説明できる。 2. 上肢を構成する骨の構造を説明できる。 3. 下肢を構成する骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」肋骨・胸骨 P.10～11, 上肢骨・下肢骨 P.11～17を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：胸郭、骨盤、上肢骨、下肢骨等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2019/04/15 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (頭蓋の概観, 鼻腔と副鼻腔, 眼窩)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨各部の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋を構成する骨を説明できる。 2. 新生児頭蓋の特徴を説明できる。 3. 鼻腔と副鼻腔を構成する骨を説明できる。 4. 眼窩を構成する骨を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」頭蓋, 脳頭蓋 P.94～107を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：頭蓋, 脳頭蓋等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/15 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (頭蓋の概観, 鼻腔と副鼻腔, 眼窩)	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	近藤 信太郎
2019/04/15 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 総論	【授業の一般目標】 骨格筋の構造を説明できる。 起始と停止が説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 筋の種類を説明できる。 2. 筋の機能を説明できる。 3. 筋の作用を説明できる。 4. 骨格筋の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」筋学総論 P. 18～19を通読する。 ・事前学修時間: 20分 ・事後学習項目: 筋学総論等を確認する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	五十嵐 由里子
2019/04/18 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 体幹の筋 (1)	【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱や胸部に関する知識を基に、背部・胸部に存在する筋の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 後頸筋の構造と機能を説明できる。 3. 胸部の筋の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」頸部の筋, 背部の筋, 胸部の筋 P. 19～23を通読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 頸部の筋, 背部の筋, 胸部の筋等を確認する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋  【コアカリキュラム】 C 生命科学	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/18 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 体幹の筋 (1)	C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	五十嵐 由里子
2019/04/22 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (頭蓋冠, 頭蓋底)	【授業の一般目標】 頭蓋冠と頭蓋底を構成する各骨の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. ヒト頭蓋の特徴が説明できる。 2. 頭蓋冠を構成する骨の説明ができる。 3. 頭蓋底を構成する骨の説明ができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」 脳頭蓋 P.94～107, 顔面頭蓋 P.107～117, 加齢と歯の喪失に伴う顎骨の変化 P.202～207を通読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 頭蓋冠, 頭蓋底, 顎骨の変化等を確認する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	近藤 信太郎
2019/04/22 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 体幹の筋 (2)	【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱などの知識を基に、腹部に存在する筋の構造と機能、横隔膜を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 腹部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 横隔膜の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」 胸部の筋・腹部の筋 P.22～24を通読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 腹部の筋, 横隔膜等を確認する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	五十嵐 由里子
2019/04/25 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (蝶形骨, 上顎骨, 骨口蓋, 翼口蓋窩)	【授業の一般目標】 頭蓋各部の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 蝶形骨の構造を説明できる。 2. 上顎骨の構造を説明できる。 3. 骨口蓋の構造を説明できる。	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/25 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (蝶形骨, 上顎骨, 骨口蓋, 翼口蓋窩)	4. 翼口蓋窩の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」蝶形骨 P.104～106, 上顎骨 P.108～112, 口蓋骨 P.112～114, 眼窩・鼻腔・骨口蓋・翼口蓋窩 P.117～120を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：蝶形骨, 上顎骨, 骨口蓋, 翼口蓋窩等を確認する。 ・事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	近藤 信太郎
2019/05/09 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (下顎骨, 舌骨)	【授業の一般目標】 頭蓋各部の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎骨の構造を説明できる。 2. 舌骨の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」下顎骨 P.114～117, 舌骨 P.117を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：下顎骨, 舌骨等を確認する。 ・事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	近藤 信太郎
2019/05/09 (木) 2時限 10:40～12:10	筋系 上肢・下肢 の筋	【授業の一般目標】 骨学で学習した上肢と下肢の骨の知識を基に、上肢と下肢の筋の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 上肢の筋の構造と機能を説明できる。 2. 下肢の筋の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」上肢の筋・下肢の筋 P.24～30を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：上・下肢の筋等を確認する。	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/09 (木) 2時限 10:40～12:10	筋系 上肢・下肢 の筋	<p>・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2019/05/13 (月) 1時限 09:00～10:30	筋系 頭部の筋 (顔面筋(表情筋)、 咀嚼筋)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋の筋の走行を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顔面筋（表情筋）の構造を説明できる。 2. 咀嚼筋の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」頭部の筋 P.121～127, 義歯と筋 P.219～223を通読する。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目： 表情筋, 咀嚼筋等を確認する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/05/13 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習1)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨全体の各部の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 脳頭蓋と顔面頭蓋の構造が説明できる。 2. 内頭蓋底と外頭蓋底の構造が説明できる。 3. 蝶形骨と側頭骨の構造が説明できる。 4. 眼窩・鼻腔・副鼻腔の構造を説明できる。 5. 翼口蓋窩の構造が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」頭頸部の骨 P.94～120 頭頸部の筋 P.121～129を復習する。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目： 頭頸部の骨・筋等を復習する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>「口腔解剖学 第2版」頭頸部の骨 P.94～120 頭頸部の筋 P.121～129を</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/13 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習1)	<p>復習する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して、座学の知識を総括する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/05/16 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 頸部の筋 (舌骨筋群、頸部の三角)	<p>【授業の一般目標】 頸部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 舌骨上筋群の走行を説明できる。 2. 舌骨下筋群の走行を説明できる。 3. 舌骨筋群のはたらきを説明できる。 4. 頸部の三角を構成する筋の走行を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」頸部の筋 P.127～129を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：頸部の筋を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 c 浅頸筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/05/20 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系・筋系 顎 関節と顎運動	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を説明できる。 下顎骨の運動に関与する筋のはたらきを説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎運動に関与する筋のはたらきを説明できる。 3. 舌骨を動かす筋のはたらきを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」顎関節 P.130～132、咀嚼筋 P.124～125、舌骨上筋 P.127～128を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：顎関節、咀嚼筋、舌骨上筋等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	近藤 信太郎



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/20 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系・筋系 顎 関節と顎運動	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨（関節、靭帯を含む）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋 c 浅頭筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/05/20 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習2)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。咀嚼筋と舌骨上筋の起始と停止を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭蓋を構成する各骨の構造を説明できる。 2. 咀嚼筋の起始と停止を説明できる。 3. 舌骨上筋の起始を説明できる。 4. 顎関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」骨学総論 P.5～17 顎関節 P.130～132を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：骨学総論，顎関節を復習する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して，座学の知識を総括する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨（関節、靭帯を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/05/23 (木) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 総論， 鼻	<p>【授業の一般目標】 呼吸器系の構成と外鼻の構造を説明できる。 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 呼吸器の構成を説明できる。 2. 気道の構造を説明できる。 3. 外鼻と鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」呼吸器系 P.188～192を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：気道，外鼻，鼻腔等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/23 (木) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 総論, 鼻	<p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 a 気道、肺、呼吸筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/05/27 (月) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 咽頭 (扁桃を含む), 喉頭	<p>【授業の一般目標】 咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」咽頭 P.184～188, 喉頭 P.192～194を通読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 咽頭, 喉頭等を確認する。 ・事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/05/27 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習3)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋を構成する各骨の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」頭頸部の骨 P.94～120 頭頸部の筋 P.121～129を復習する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 頭頸部の骨・筋等を復習する。 ・事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して、座学の知識を総括する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/05/30 (木)	呼吸器系 気管,	【授業の一般目標】	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	気管支, 肺, 胸膜	<p>気管および肺の構造と機能を説明できる。胸腔および胸膜の構造を説明できる。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 気管の構造と機能を説明できる。  2. 気管支の構造と機能を説明できる。  3. 肺の構造と機能を説明できる。  4. 縦隔, 胸腔および胸膜の構造を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」気管・気管支と肺 P.194～195 胸腔 P.86を通読する。  ・事前学修時間: 30分  ・事後学習項目: 気管, 気管支, 肺, 縦隔, 胸膜等を確認する。  ・事後学習時間: 30分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング 無</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b>  102教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b>  歯科医学総論  総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢  1 細胞・組織・器官の構造と機能  ウ 呼吸器・循環器系  a 気道、肺、呼吸筋</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b>  C 生命科学  C-3 人体の構造と機能  C-3-4) 身体を構成する組織と器官  C-3-4) - (8) 呼吸器系  ①気道系の構造と機能を説明できる。  ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/06/03 (月) 3時限 13:00～13:50	平常試験 1	<p><b>【授業の一般目標】</b>  総論, 運動器, 呼吸器</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 解剖学の総論を説明できる。  2. 全身の骨格系の構造を説明できる。  3. 頭蓋骨の構造を説明できる。  4. 全身の筋の構造と機能を説明できる。  5. 頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。  6. 呼吸器の構造と機能を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・事前学修項目: 解剖学の総論, 骨格系・筋系・呼吸器系の構造と機能の復習。  ・事前学修時間: 3時間以上  ・事後学習項目: 解剖学の総論, 骨格系・筋系・呼吸器系の構造と機能の復習。  ・事後学習時間: 1時間以上</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング 無</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b>  102教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b>  必修の基本的事項  5 人体の正常構造・機能  ア 全身・口腔の構造と機能  e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b>  歯科医学総論  総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢  1 細胞・組織・器官の構造と機能  イ 運動・骨格系  a 骨  b 筋  4 頭頸部の構造  イ 頭頸部の骨格系  a 頭蓋  b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)  a 顔面筋 (表情筋)  b 咀嚼筋  c 浅頭筋  d 咽頭、喉頭</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b>  C 生命科学  C-3 人体の構造と機能  C-3-1) 身体の部位と方向用語  ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/03 (月) 3時限 13:00～13:50	平常試験 1	<p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ①咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 ②扁桃の構造、分布及び機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/06/03 (月) 4時限 14:00～14:50	平常試験 1 の解説	<p>【授業の一般目標】 総論，運動器，呼吸器</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 解剖学の総論を説明できる。 2. 全身の骨格系の構造を説明できる。 3. 頭蓋骨の構造を説明できる。 4. 全身の筋の構造と機能を説明できる。 5. 頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。 6. 呼吸器の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：解剖学の総論，骨格系，筋系，呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：解剖学の総論，骨格系，筋系，呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事後学習時間：1時間以上</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨 b 筋 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位 a 頭蓋 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む) a 顔面筋 &lt;表情筋&gt; b 咀嚼筋 c 浅頸筋 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1) 身体の一部と方向用語 ①身体の一部及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ①咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 ②扁桃の構造、分布及び機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/06/06 (木) 2時限 11:10～12:00	平常試験 1 の解説	<p>【授業の一般目標】 総論，運動器，呼吸器</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 解剖学の総論を説明できる。 2. 全身の骨格系の構造を説明できる。 3. 頭蓋骨の構造を説明できる。 4. 全身の筋の構造と機能を説明できる。 5. 頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。 6. 呼吸器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/06 (木) 2時限 11:10~12:00	平常試験1の解説	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：解剖学の総論，骨格系，筋系，呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：解剖学の総論，骨格系，筋系，呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事後学習時間：1時間以上</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨 b 筋 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位 a 頭蓋 b 頭蓋骨（関節、靭帯を含む） a 顔面筋〈表情筋〉 b 咀嚼筋 c 浅頭筋 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1 身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-（2）支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4-（3）筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ①咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 ②扁桃の構造、分布及び機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/06/10 (月) 1時限 09:00~10:30	骨格系 頭蓋骨 (画像解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造と臨床画像との関連を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 頭蓋骨全体像を説明できる。 3. 頭蓋骨と臨床画像の関係を説明できる。 4. 頭蓋骨の断面画像を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」画像解剖学 P.237~248を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：画像解剖学を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造</p>	*金田 隆 近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/10 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (画像解剖学)	イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む) a 画像解剖  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	*金田 隆 近藤 信太郎
2019/06/10 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 総論 脊髄	【授業の一般目標】 神経系の構成, 区分, 機能的分類などを説明できる。脊髄の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. ニューロンとシナプスを説明できる。 2. 白質, 灰白質, 神経節を説明できる。 3. 脊髄の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 頭蓋腔, 脊柱管の構造を確認する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 頭蓋腔, 脊柱管, 脊髄の構造を確認する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で, 必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。	松野 昌展
2019/06/13 (木) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳 (1)	【授業の一般目標】 大脳半球と間脳の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 大脳皮質の構造と機能を説明できる。 2. 大脳基底核の構造と機能を説明できる。 3. 大脳内の線維の走行を説明できる。 4. 脳の機能局在を説明できる。 5. 間脳の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 前回までの神経系の講義の復習をする。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 本日の神経系の講義の復習をする。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で, 必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/17 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 総論 心臓	<p>【授業の一般目標】 循環器系の概要を説明できる。心臓の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動脈と動脈血、静脈と静脈血の違いを説明できる。 2. 心臓の構造と機能を説明できる。 3. 肺循環と体循環の違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」脈管学総論 P.37～48を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：脈管学総論等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/06/17 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳 (2)	<p>【授業の一般目標】 脳幹、小脳、髄膜、脳の血管系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 延髄の構造と機能を説明できる。 2. 橋の構造と機能を説明できる。 3. 中脳の構造と機能を説明できる。 4. 脳神経核を説明できる。 5. 小脳の構造と機能を説明できる。 6. 髄膜の構造と機能を説明できる。 7. 脳の血管系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：前回までの神経系の講義の復習をする。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：本日の神経系の講義の復習をする。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器系・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。</p>	松野 昌展
2019/06/20 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 総論 口腔 (1)	<p>【授業の一般目標】 消化器系の構成を説明できる。口腔の構成、口唇、頬の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 消化器系の全体像を説明できる。 2. 口腔の区分を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」頭頸部の体表 P.89～91、口腔 P.170～172を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：本日の消化器系の講義の復習をする。</p>	佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/20 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 総論 口腔 (1)	<p>・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ②口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。</p>	佐々木 佳世子
2019/06/24 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 大循環	<p>【授業の一般目標】 血管の一般構造を説明できる。体幹、体肢の動・静脈の分布領域を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 動脈、静脈、リンパ管の構造を説明できる。 2. 大動脈の分枝を説明できる。 3. 体幹、体肢の動・静脈の分布領域を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」血液の循環 P. 48～52を通読する。</p> <p>・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：大循環と小循環などを確認する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/06/24 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (1)	<p>【授業の一般目標】 脳神経Ⅰ～Ⅳ，Ⅵの分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 嗅神経の構造と機能を説明できる。 2. 視神経の構造と機能を説明できる。 3. 眼球を動かす筋の神経支配を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：2人以上で組んで眼球の動きと明暗による瞳孔の大きさの変化を観察する。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：感覚器の神経の構造と機能等を確認する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p>	松野 昌展



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/24 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (1)	<p>黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。</p>	松野 昌展
2019/06/27 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 口腔 (2)	<p>【授業の一般目標】 口蓋, 口腔底, 口峽, 舌の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 口蓋の構造と機能を説明できる。 2. 口腔底の構造を説明できる。 3. 口峽を説明できる。 4. 舌の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」口腔 P.170～178 を通読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 口蓋, 口腔底, 口峽, 舌等を確認する。 ・事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示, 資料配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 c 舌、扁桃</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。</p>	佐々木 佳世子
2019/07/01 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 頭頸部の血管	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の動・静脈の分布を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 総頸動脈の枝の分布を説明できる。 2. 外頸動脈の枝の分布を説明できる。 3. 内頸動脈の枝の分布を説明できる。 4. 頭頸部の動脈と静脈の分布の違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 「口腔解剖学 第2版」頭頸部の血管 P.133～139を通読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 口蓋, 口腔底, 口峽, 舌等を確認する。 ・事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/01 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 頭頸部の血管	<p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/07/01 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経(2)	<p>【授業の一般目標】 脳神経Ⅴ，Ⅶの分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 三叉神経の分布と機能を説明できる。 2. 顔面神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：内頭蓋底と眼窩、翼口蓋窩、鼻腔、口腔の構造、位置関係を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：三叉神経、顔面神経の構造と機能等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	松野 昌展
2019/07/04 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 口腔(3)	<p>【授業の一般目標】 唾液腺の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 唾液腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」唾液腺 P.178～184を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：大唾液腺、小唾液腺等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能</p>	佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/04 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 口腔 (3)	⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。	佐々木 佳世子
2019/07/08 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 静脈、 リンパ系、胎生期 循環	<p>【授業の一般目標】 静脈系、リンパ系を説明できる。頭頸部の所属リンパ節を説明できる。胎生期循環の特徴を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 静脈系を説明できる。 2. リンパ系の本幹を説明できる。 3. 所属リンパ節を説明できる。 4. 胎生期循環を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」リンパ系 P.53～58、頭頸部のリンパ P.138～144を通読する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：口蓋、口腔底、口峽、舌等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/07/08 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (3)	<p>【授業の一般目標】 脳神経Ⅷ～Ⅸの分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 内耳神経の分布と機能を説明できる。 2. 舌咽神経の分布と機能を説明できる。 3. 内耳の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：側頭骨の構造を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：感覚器の神経の構造と機能等を確認する。 ・事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。</p>	松野 昌展
2019/07/11 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 咽頭、 食道、胃、腸	<p>【授業の一般目標】 咽頭の構造を説明できる。食道の構造を説明できる。胃の構造を説明できる。小腸、大腸の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭の構造と機能を説明できる。 2. 食道の構造と機能を説明できる。 3. 胃の構造と機能を説明できる。</p>	佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/11 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 咽頭、 食道、胃、腸	<p>4. 小腸の構造と機能を説明できる。 5. 大腸の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学 第2版」咽頭 P.184～188 を通読する。食道、胃、小腸、大腸については配布資料あるいは参考図書で準備学修をする。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目： 咽頭、食道、胃、腸等を確認する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 エ 消化器系 a 消化管</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。</p>	佐々木 佳世子
2019/07/18 (木) 1時限 09:00～10:30	神経系 脊髄神経	<p>【授業の一般目標】 末梢神経の形態と機能、脊髄神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 末梢神経の構造と機能を説明できる。 2. 脊髄神経の分布を説明できる。 3. 神経叢の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目： 脊柱管と脊髄の構造を復習する。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目： 脊髄神経、末梢神経、神経叢等を確認する。 ・事後学習時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 b 脊髄神経</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。</p>	松野 昌展
2019/07/22 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 自律神経	<p>【授業の一般目標】 腺を支配する自律神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顔面神経の分布と機能を説明できる。 2. 舌咽神経の分布と機能を説明できる。</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/22 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 自律神経	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目： 脳神経Ⅶ・Ⅸを復習する。</li> <li>・事前学修時間： 30分</li> <li>・事後学習項目： 腺を支配する自律神経の分布と機能等を確認する。</li> <li>・事後学習時間： 30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	松野 昌展
2019/07/22 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (5) 骨実習	<p>【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し，脳神経の分布経路を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 脳神経が頭蓋腔を出る通路を説明できる。 2. 三叉神経の頭蓋骨内の経路を説明できる。 3. 顔面神経の頭蓋骨内の経路を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目： 脳神経の講義内容を復習する。</li> <li>・事前学修時間： 30分</li> <li>・事後学習項目： 脳神経の通路を復習する。</li> <li>・事後学習時間： 30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して，脳神経の経路を総括する。</p> <p>【学修方略（L S）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/07/25 (木) 1時限 09:00～10:30	感覚器系 総論 視覚，平衡・聴覚	<p>【授業の一般目標】 感覚器（耳小骨，内眼筋を含む）の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 視覚器の構造と機能を説明できる。 2. 平衡覚器，聴覚器の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目： 「口腔解剖学 第2版」視覚器 P.70～72，平衡・聴覚器 P.72～75を通読する。</li> <li>・事前学修時間： 30分</li> <li>・事後学習項目： 感覚器等を確認する。</li> <li>・事後学習時間： 30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布</p> <p>【学修方略（L S）】</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/25 (木) 1時限 09:00～10:30	感覚器系 総論 視覚, 平衡・聴覚	講義 【場所(教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。	松野 昌展
2019/07/26 (金) 1時限 09:00～10:30	消化器系 消化腺、 腹膜	【授業の一般目標】 肝臓、胆嚢、膵臓の構造を説明できる。腹部漿膜の構造を説明できる。  【行動目標(SBOs)】 1. 肝臓と胆嚢の構造と機能を説明できる。 2. 膵臓の構造と機能を説明できる。 3. 腹膜の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 配布資料あるいは参考図書で準備学修をする。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 肝臓, 胆嚢, 膵臓, 腹膜等を確認する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示, 資料配布  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 エ 消化器系 b 肝臓、胆道、膵臓  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。	佐々木 佳世子
2019/07/26 (金) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (6) 骨実習	【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し, 脳神経の分布経路を説明できる。  【行動目標(SBOs)】 1. 内頭蓋底の構造が説明できる。 2. 外頭蓋底の構造が説明できる。 3. 翼口蓋窩と周囲の交通が説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 頭蓋骨の講義内容を復習する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 脳神経の通路を復習する。 ・事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して, 脳神経の経路を総括する。  【学修方略(LS)】 演習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/26 (金) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (6) 骨実習	イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/08/26 (月) 3時限 13:00～13:50	平常試験 2	【授業の一般目標】 神経系、消化器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事前学修時間：3時間以上 ・事後学習項目：各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事後学習時間：1時間以上  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系 a 消化管 b 肝臓、胆道、膵臓 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 c リンパ系 a 口腔 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭 a 脳神経  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/08/26 (月) 4時限 14:00～14:50	平常試験 2 の解説	【授業の一般目標】 神経系、消化器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事後学習時間：1時間以上  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/26 (月) 4時限 14:00～14:50	平常試験2の解説	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2019/08/29 (木) 2時限 11:10～12:00	平常試験2の解説	<p>【授業の一般目標】 神経系、消化器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事後学習時間：1時間以上</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 a 気道、肺、呼吸筋 b 心臓、脈管系 a 消化管 b 肝臓、胆道、膵臓 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 c リンパ系 a 口腔 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系</p>	近藤 信太郎



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/29 (木) 2時限 11:10～12:00	平常試験2の解説	①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。	近藤 信太郎
2019/09/17 (火) 3時限 13:10～14:40	第1回① 解剖実習と倫理	<p>【授業の一般目標】 人体構造の知識を深めるため、解剖実習を行うが、そのための法律や倫理観など、これからの実習で「ヒトとして」とるべき行動について考え、歯科学生としてあるべき姿を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 献体について説明する。 2. 解剖に関連する法律を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：解剖に関する法律を調べておく。 ・事前学修時間：20分 ・事後学習項目：配付資料を熟読する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 スライドの提示と資料配付</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1 医の倫理と生命倫理 ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。 ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 A-8 科学的探究 A-8-1 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	近藤 信太郎
2019/09/17 (火) 4時限 14:50～16:20	第1回② 解剖実習 ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 解剖実習を行うための準備として使用する器具の確認を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 器具の名称と使用方法を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：生物実習で使用した器具を再確認する。 ・事前学修時間：20分 ・事後学習項目：実習書の器具一覧を確認する。 ・事後学習項目：10分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 器具の確認</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/09/24 (火) 3時限 13:10～14:40	第2回① 皮膚の構造 (1) 後面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/24 (火) 3時限 13:10~14:40	第2回① 皮膚の構造 (1) 後面	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 皮膚の層状構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：組織学で学んだ表皮、真皮、皮下組織の構造を調べておく。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>d 組織 (上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系</p> <p>①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。</p> <p>②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/09/24 (火) 4時限 14:50~16:20	第2回② 皮膚の構造 (1) 後面	<p>【授業の一般目標】</p> <p>人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 皮膚の層状構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：組織学で学んだ表皮、真皮、皮下組織の構造を調べておく。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>d 組織 (上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系</p> <p>①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。</p> <p>②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/09/25 (水) 3時限 13:10~14:40	第3回① 皮膚の構造 (2) 前面	<p>【授業の一般目標】</p> <p>人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 皮膚の層状構造を説明する。</p> <p>2. 頸部表層の筋 (広頸筋) の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：広頸筋の構造を復習する。</li> <li>・事前学修時間：20分</li> <li>・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/25 (水) 3時限 13:10~14:40	第3回① 皮膚の構造 (2) 前面	<p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> <p>4 頭頸部の構造</p> <p>ウ 頭頸部の筋系</p> <p>a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系</p> <p>②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/09/25 (水) 4時限 14:50~16:20	第3回② 皮膚の構造 (2) 前面	<p>【授業の一般目標】</p> <p>人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 皮膚の層状構造を説明する。</p> <p>2. 頸部表層の筋 (広頸筋) の構造を説明する</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目: 広頸筋の構造を復習する。</li> <li>・事前学修時間: 20分</li> <li>・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間: 20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有</p> <p>ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> <p>4 頭頸部の構造</p> <p>ウ 頭頸部の筋系</p> <p>a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系</p> <p>②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/09/30 (月) 3時限 13:10~14:40	第4回① 前面浅層 (1) 顔面筋 (表情筋)、胸部・腹部・大腿部の皮静脈	<p>【授業の一般目標】</p> <p>皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 眼裂周囲の顔面筋 (表情筋) の構造と機能を説明する。</p> <p>2. 臍部を中心とする胸腹部の皮静脈の分布を説明する。</p> <p>3. 大腿部の皮静脈の分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目: 眼裂周囲の顔面筋 (表情筋) について調べておく。</li> <li>・事前学修時間: 30分</li> <li>・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間: 20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有</p> <p>ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> <p>4 頭頸部の構造</p> <p>ウ 頭頸部の筋系</p> <p>a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系</p> <p>②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/30 (月) 3時限 13:10~14:40	第4回① 前面浅層(1) 顔面筋(表情筋)、胸部・腹部・大腿部の皮静脈	E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/09/30 (月) 4時限 14:50~16:20	第4回② 前面浅層(1) 顔面筋(表情筋)、胸部・腹部・大腿部の皮静脈	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 眼裂周囲の顔面筋(表情筋)の構造と機能を説明する。 2. 臍部を中心とする胸腹部の皮静脈の分布を説明する。 3. 大腿部の皮静脈の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 眼裂周囲の顔面筋(表情筋)について調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋<表情筋>  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/01 (火) 3時限 13:10~14:40	第5回① 前面浅層(2) 顔面筋(表情筋)、胸部、腹部の筋・上肢の皮下組織	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 口裂周囲の顔面筋(表情筋)の構造と機能を説明する。 2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 4. 上肢の皮静脈の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 口裂周囲の顔面筋(表情筋)の走行を調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋<表情筋>  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/01 (火) 3時限 13:10~14:40	第5回① 前面浅層(2) 顔面筋(表情筋)、胸部、腹部の筋・上肢の皮下組織		近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/01 (火) 4時限 14:50~16:20	第5回② 前面浅層(2) 顔面筋(表情筋)、胸部、腹部の筋・上肢の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口裂周囲の顔面筋(表情筋)の構造と機能を説明する。 2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 4. 上肢の皮静脈の分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 口裂周囲の顔面筋(表情筋)の走行を調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/07 (月) 3時限 13:10~14:40	第6回① 前面浅層(3) 頸部浅層の神経、胸部、腹部の中間層の筋、上腕屈筋群、大腿三角	<p>【授業の一般目標】 各部浅層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頸部の感覚神経と運動神経を説明する。 2. 胸部、腹部中間層の筋の構造と機能を説明する。 3. 上腕の屈筋の構造と機能を説明する。 4. 大腿三角の構成を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 頸部の感覚神経の根となる神経と顔面神経の終枝について調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 b 脊髄神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/07 (月) 3時限 13:10~14:40	第6回① 前面浅層 (3) 頸部浅層の神経、胸部、腹部の中間層の筋、上腕屈筋群、大腿三角	C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/07 (月) 4時限 14:50~16:20	第6回② 前面浅層 (3) 頸部浅層の神経、胸部、腹部の中間層の筋、上腕屈筋群、大腿三角	【授業の一般目標】 各部浅層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 頸部の感覚神経と運動神経を説明する。 2. 胸部、腹部中間層の筋の構造と機能を説明する。 3. 上腕の屈筋の構造と機能を説明する。 4. 大腿三角の構成を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頸部の感覚神経の根となる神経と顔面神経の終枝について調べておく。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 b 脊髄神経  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/08 (火) 3時限 13:10~14:40	第7回① 前面浅層 (4) 舌骨下筋群、腹直筋、大腿伸筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 舌骨下筋群の構造と機能・支配神経を説明する。 2. 腹直筋の構造を説明する。 3. 大腿の伸筋の構造と機能を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頸神経ワナについて調べておく。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 d 頸筋膜 (浅葉、気管前葉、椎前葉、頸動脈鞘)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/08 (火) 3時限 13:10~14:40	第7回① 前面浅層(4) 舌骨下筋群、腹直筋、大腿伸筋群	④頭頸部の脈管系を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/08 (火) 4時限 14:50~16:20	第7回② 前面浅層(4) 舌骨下筋群、腹直筋、大腿伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 舌骨下筋群の構造と機能・支配神経を説明する。 2. 腹直筋の構造を説明する。 3. 大腿の伸筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頸神経ワナについて調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 d 頭筋膜(浅葉、気管前葉、椎前葉、頸動脈鞘)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/15 (火) 3時限 13:10~14:40	第8回① 背部浅層(1) 後頭部の皮下組織、僧帽筋・広背筋、殿部	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明する。 2. 背部の筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：後頭動脈の分岐部と分布を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/15 (火) 4時限 14:50~16:20	第8回② 背部浅層(1) 後頭部の皮下組織、僧帽筋・広背筋、殿部	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明する。 2. 背部の筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/15 (火) 4時限 14:50～16:20	第8回② 背部浅層(1) 後頭部の皮下組織、僧帽筋・広背筋、殿部	<p>・事前学修項目：後頭動脈の分岐部と分布を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/17 (木) 3時限 13:10～14:40	第9回① 背部浅層(2) 背部中層、殿部深層、上腕・下肢の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明する。 2. 殿部の深部の筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/17 (木) 4時限 14:50～16:20	第9回② 背部浅層(2) 背部中層、殿部深層、上腕・下肢の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明する。 2. 殿部の深部の筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/17 (木) 4時限 14:50～16:20	第9回② 背部浅層(2) 背部中層、殿部深層、上腕・下肢の皮下組織	ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/21 (月) 3時限 13:10～14:40	第10回① 背部深層(1) 後頭下三角、脊柱起立筋、上肢皮下組織	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 後頭下三角の構成を説明する。 2. 背部の筋の構造と機能を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 後頭下三角を構成する筋を調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/21 (月) 4時限 14:50～16:20	第10回② 背部深層(1) 後頭下三角、脊柱起立筋、上肢皮下組織	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 後頭下三角の構成を説明する。 2. 背部の筋の構造と機能を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 後頭下三角を構成する筋を調べておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/28 (月) 3時限 13:10～14:40	第11回① 耳下腺と顔面神経の構造と歯科臨床 前面深層(1) 顔面筋(表情筋)と	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	*小宮 正道 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/28 (月) 3時限 13:10~14:40	顔面神経、頸部深層、開腹・大腿内転筋群	<p>2. □・顔面筋（表情筋）に分布する顔面神経と耳下腺の関係を説明する。 3. 頸動脈鞘に関連する構造を説明する。 4. 腕神経叢の構造と機能を説明する。 5. 腹部内臓の位置関係と腹膜の関係を説明する。 6. 大腿内転筋群の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：耳下腺神経叢とその分枝の走行を調べておく。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	*小宮 正道 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/28 (月) 4時限 14:50~16:20	第11回② 前面深層（1）顔面筋（表情筋）と顔面神経、頸部深層、開腹・大腿内転筋群	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顔面筋（表情筋）に分布する顔面神経と耳下腺の関係を説明する。 2. 頸動脈鞘に関連する構造を説明する。 3. 腕神経叢の構造と機能を説明する。 4. 腹部内臓の位置関係と腹膜の関係を説明する。 5. 大腿内転筋群の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：耳下腺神経叢とその分枝の走行を調べておく。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/29 (火) 3時限 13:10～14:40	第12回① 前面深層(2) 側頭部、舌骨上筋群、膝関節	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺神経叢の構造を説明する。 2. 顔面動脈の分布を説明する。 3. 側頭筋の構造と機能を説明する。 4. 舌骨上筋群の構造と機能を説明する。 5. 膝関節の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：舌骨上筋群について調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/10/29 (火) 4時限 14:50～16:20	第12回② 前面深層(2) 側頭部、舌骨上筋群、膝関節	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺神経叢の構造を説明する。 2. 顔面動脈の分布を説明する。 3. 側頭筋の構造と機能を説明する。 4. 舌骨上筋群の構造と機能を説明する。 5. 膝関節の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：舌骨上筋群について調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/05 (火) 3時限 13:10～14:40	第13回① 前半総復習(1)	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/05 (火) 3時限 13:10～14:40	第13回① 前半総復習 (1)	<p>1. 頭部浅層の構造を説明する。 2. 頸部浅層の構造を説明する。 3. 胸部浅層の構造を説明する。 4. 腹部浅層の構造を説明する。 5. 背部・腰部の構造を説明する。 6. 上肢・下肢浅層の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/05 (火) 4時限 14:50～16:20	第13回② 前半総復習 (1)	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭部浅層の構造を説明する。 2. 頸部浅層の構造を説明する。 3. 胸部浅層の構造を説明する。 4. 腹部浅層の構造を説明する。 5. 背部・腰部の構造を説明する。 6. 上肢・下肢浅層の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/05 (火) 4時限 14:50～16:20	第13回② 前半総復習 (1)	明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/12 (火) 11:10～12:00	平常試験1 (第14回) 実習試験 (筆記試験を含む) ※試験時間: 13:00～15:30	【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体枝の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: これまでに実習で学習したことを復習する。 ・事前学修時間: 180分 ・事後学習項目: 出題された内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 50分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/12 (火) 3時限 13:00～13:50	平常試験1 (第14回) 実習試験 (筆記試験を含む) ※試験時間: 13:00～15:30	【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体枝の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: これまでに実習で学習したことを復習する。 ・事前学修時間: 180分 ・事後学習項目: 出題された内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 50分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/12 (火) 4時限 14:00～14:50	平常試験1 (第14回) 試験の解説講義	【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	※解説時間：15:30-16:30	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭頸部の構造を説明する。</li> <li>2. 胸腹部の構造を説明する。</li> <li>3. 体枝の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：これまでに実習で学習したことを復習する。</li> <li>・事前学修時間：180分</li> <li>・事後学習項目：出題された内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する解説講義</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4)-(3) 筋組織と筋系</p> <p>③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系</p> <p>②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(5) 神経系</p> <p>①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2019/11/13 (水) 2時限 11:10~12:00	<p>平常試験1（第14回）試験の解説講義</p> <p>※振替日：11月12日（月）15:30-16:30</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全身の構造を説明する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭頸部の構造を説明する。</li> <li>2. 胸腹部の構造を説明する。</li> <li>3. 体枝の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：これまでに実習で学習したことを復習する。</li> <li>・事前学修時間：180分</li> <li>・事後学習項目：出題された内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する解説講義</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4)-(3) 筋組織と筋系</p> <p>③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系</p> <p>②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(5) 神経系</p> <p>①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/18 (月) 3時限 13:10~14:40	第15回① 前半総復習（2）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭部浅層の構造を説明する。</li> <li>2. 頸部浅層の構造を説明する。</li> <li>3. 胸部浅層の構造を説明する。</li> <li>4. 腹部浅層の構造を説明する。</li> <li>5. 背部・腰部の構造を説明する。</li> <li>6. 上肢・下肢浅層の構造を説明する。</li> </ol>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/18 (月) 3時限 13:10～14:40	第15回① 前半総復習 (2)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：平常試験に出題された問題を復習する。</li> <li>・事前学修時間： 30分</li> <li>・事後学修項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学修時間： 20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/18 (月) 4時限 14:50～16:20	第15回② 前半総復習 (2)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭部浅層の構造を説明する。</li> <li>2. 頸部浅層の構造を説明する。</li> <li>3. 胸部浅層の構造を説明する。</li> <li>4. 腹部浅層の構造を説明する。</li> <li>5. 背部・腰部の構造を説明する。</li> <li>6. 上肢・下肢浅層の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：平常試験に出題された問題を復習する。</li> <li>・事前学修時間： 30分</li> <li>・事後学修項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学修時間： 20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習 (スケッチ)</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/18 (月) 4時限 14:50～16:20	第15回② 前半総復習 (2)	C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/19 (火) 3時限 13:10～14:40	第16回① 前面深層 (3) 三叉神経、咀嚼筋、開胸、下腿伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明する。 2. 顔面皮下に分布する三叉神経の分布を説明する。 3. 胸部内臓の位置関係を説明する。 4. 下腿伸筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顔面に分布する感覚神経を調べる。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/19 (火) 4時限 14:50～16:20	第16回② 前面深層 (3) 三叉神経、咀嚼筋、開胸、下腿伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明する。 2. 顔面皮下に分布する三叉神経の分布を説明する。 3. 胸部内臓の位置関係を説明する。 4. 下腿伸筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顔面に分布する感覚神経を調べる。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/19 (火) 4時限 14:50～16:20	第16回② 前面深層(3) 三叉神経、咀嚼筋、開胸、下腿伸筋群	①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/25 (月) 3時限 13:10～14:40	第17回① 各部の構造(1) 脳、肺、心臓、腹腔動脈	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 髄膜の構造を説明する。 2. 肺の構造を説明する。 3. 心臓の構造を説明する。 4. 腹腔動脈の枝の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 反回神経の分布と機能を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/25 (月) 4時限 14:50～16:20	第17回② 各部の構造(1) 脳、肺、心臓、腹腔動脈	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 髄膜の構造を説明する。 2. 肺の構造を説明する。 3. 心臓の構造を説明する。 4. 腹腔動脈の枝の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 反回神経の分布と機能を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/25 (月) 4時限 14:50～16:20	第17回② 各部の構造 (1) 脳、肺、心臓、腹腔動脈	E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/26 (火) 3時限 13:10～14:40	第18回① 各部の構造 (2) 脳、心臓、下腿屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 脳表面の構造を説明する。 2. 心臓の構造を説明する。 3. 下腿屈筋の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 脳神経が脳から出る部位と頭蓋底を通過する部位を復習する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/11/26 (火) 4時限 14:50～16:20	第18回② 各部の構造 (2) 脳、心臓、下腿屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 脳表面の構造を説明する。 2. 心臓の構造を説明する。 3. 下腿屈筋の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 脳神経が脳から出る部位と頭蓋底を通過する部位を復習する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/26 (火) 4時限 14:50～16:20	第18回② 各部の構造 (2) 脳、心臓、下腿屈筋群	を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/02 (月) 3時限 13:10～14:40	第19回① 各部の構造 (3) 脳、縦隔、腸間膜の血管、下腿伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳断面の構造と機能を説明する。 2. 縦隔に存在する構造を説明する。 3. 腸間膜に分布する血管の分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：門脈の分布を調べる。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/02 (月) 4時限 14:50～16:20	第19回② 各部の構造 (3) 脳、縦隔、腸間膜の血管、下腿伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳断面の構造と機能を説明する。 2. 縦隔に存在する構造を説明する。 3. 腸間膜に分布する血管の分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：門脈の分布を調べる。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/02 (月) 4時限 14:50～16:20	第19回② 各部の構造 (3) 脳、縦隔、腸間膜の血管、下腿伸筋群	④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/03 (火) 3時限 13:10～14:40	第20回① 各部の構造 (4) 頸部離断、腹部消化管、肝臓、前腕屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 腹部消化管の構造を説明する。 2. 肝臓表面の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 肝門を通過する管状構造物の機能を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/03 (火) 4時限 14:50～16:20	第20回② 各部の構造 (4) 頸部離断、腹部消化管、肝臓、前腕屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 腹部消化管の構造を説明する。 2. 肝臓表面の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 肝門を通過する管状構造物の機能を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/09 (月) 3時限 13:10～14:40	第21回① 各部の構造 (5) 咽頭後壁、縦隔、脾臓、	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	脾臓	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>咽頭後壁の構造を説明する。</li> <li>交感神経幹の構造を説明する。</li> <li>奇静脈の分布を説明する。</li> <li>脾臓とその周囲の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学修項目：交感神経、迷走神経、舌咽神経の頸部における分布を調べる。</li> <li>事前学修時間：30分</li> <li>事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>事後学習時間：20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ③脾臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。</p>	五十嵐 由里子 伊藤 泰司
2019/12/09 (月) 4時限 14:50～16:20	第21回② 各部の構造 (5) 咽頭後壁、縦隔、脾臓、脾臓	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>咽頭後壁の構造を説明する。</li> <li>交感神経幹の構造を説明する。</li> <li>奇静脈の分布を説明する。</li> <li>脾臓とその周囲の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学修項目：交感神経、迷走神経、舌咽神経の頸部における分布を調べる。</li> <li>事前学修時間：30分</li> <li>事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>事後学習時間：20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 伊藤 泰司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/09 (月) 4時限 14:50～16:20	第21回② 各部の構造 (5) 咽頭後壁、縦隔、脾臓、脾臓	C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ③腺臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 伊藤 泰司
2019/12/10 (火) 3時限 13:10～14:40	第22回① 喉頭の構造と発音に関連する構造 各部の構造 (6) 咽頭腔、心臓、腸粘膜	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ・口腔、咽頭、喉頭の構造と発音に関する機能を説明する。 3. 咽頭と交通する鼻腔、口腔、喉頭、食道との関係を説明する。 4. 冠状動脈の分布を説明する。 5. 腸内面の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：咽頭に連絡する器官の構造を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。	*河相 安彦 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/10 (火) 4時限 14:50～16:20	第22回② 各部の構造 (6) 咽頭腔、心臓、腸粘膜	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭と交通する鼻腔、口腔、喉頭、食道との関係を説明する。 2. 冠状動脈の分布を説明する。 3. 腸内面の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：咽頭に連絡する器官の構造を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/10 (火) 4時限 14:50~16:20	第22回② 各部の構造 (6) 咽頭腔、心臓、腸粘膜	<p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/16 (月) 3時限 13:10~14:40	第23回① 顎骨の臨床解剖学各部の構造 (7) 口腔、鼻腔、肝臓、腎臓、上腕・前腕伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨を離断する外科手術に必要な構造を説明する。 3. 口腔の構造と機能を説明する。 4. 鼻腔の構造と機能を説明する。 5. 肝臓内部の構造を説明する。 6. 腎臓・副腎の形態を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：舌下腺と顎下腺管、舌神経との関係を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。</p>	*大峰 浩隆 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/16 (月) 4時限 14:50~16:20	第23回② 各部の構造 (7) 口腔、鼻腔、肝臓、腎臓、上腕・前腕伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の構造と機能を説明する。 2. 鼻腔の構造と機能を説明する。 3. 肝臓内部の構造を説明する。 4. 腎臓・副腎の形態を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：舌下腺と顎下腺管、舌神経との関係を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/16 (月) 4時限 14:50~16:20	第23回② 各部の構造 (7) 口腔、鼻腔、肝臓、腎臓、上腕・前腕伸筋群	<p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/17 (火) 3時限 13:10~14:40	第24回① 摂食嚥下の統合演習	<p>【授業の一般目標】 解剖学と生理学のつながりを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食嚥下に関わるの構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 咀嚼と嚥下に働く筋の起始・停止を調べる。咀嚼筋のはたらきを調べる。嚥下の機序を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 グループ討論</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 吉垣 純子 *野本 たかと 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 加藤 治 *横山 愛 *遠藤 眞美 *矢口 学
2019/12/17 (火) 4時限 14:50~16:20	第24回② 摂食嚥下の統合演習	<p>【授業の一般目標】 解剖学と生理学のつながりを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食嚥下に関わるの構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 咀嚼と嚥下に働く筋の起始・停止を調べる。咀嚼筋のはたらきを調べる。嚥下の機序を調べる。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 グループ討論</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p>	近藤 信太郎 吉垣 純子 *野本 たかと 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 加藤 治 *横山 愛 *遠藤 眞美 *矢口 学



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/17 (火) 4時限 14:50～16:20	第24回② 摂食嚥下の統合演習	<p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室、第 3 実習室、第 2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 吉垣 純子 *野本 たかと 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 加藤 治 *横山 愛 *遠藤 真美 *矢口 学
2019/12/23 (月) 3時限 13:10～14:40	第25回① 顎運動各部の構造（8） 下顎骨、眼瞼、後腹壁、前腕屈筋群、下腿屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ・顎運動に関わる筋の構造と機能を説明する。 3. 下顎管の構造を説明する。 4. 顎動脈の分布を説明する。 5. 顎関節の構造を説明する。 6. 眼瞼や眼球の付属器の構造を説明する。 7. 後腹壁に存在する血管、神経の分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：下歯槽神経の歯髄への枝を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室、第 3 実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。</p>	*小見山 道 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/23 (月) 4時限 14:50～16:20	第25回② 各部の構造（8） 下顎骨、眼瞼、後腹壁、前腕屈筋群、下腿屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎管の構造を説明する。 2. 顎動脈の分布を説明する。 3. 顎関節の構造を説明する。 4. 眼瞼や眼球の付属器の構造を説明する。 5. 後腹壁に存在する血管、神経の分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：下歯槽神経の歯髄への枝を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/23 (月) 4時限 14:50～16:20	第25回② 各部の構造(8)下顎骨、眼瞼、後腹壁、前腕屈筋群、下腿屈筋群	<p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/24 (火) 3時限 13:10～14:40	第26回① 歯科インプラントの臨床解剖 各器官の構造(9) 三叉神経、軟口蓋、 脊髄、肺、心臓、 前腕伸筋群、足根 関節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント治療を行うために必要な顎骨と周囲の構造を説明する。 3. 上顎神経の分布を説明する。 4. 下顎神経の分布を説明する。 5. 軟口蓋の構造と機能を説明する。 6. 肺の構造を説明する。 7. 脊髄の構造を説明する。 8. 心臓内部の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：三叉神経の分布と機能を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	*村上 洋 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/12/24 (火)	第26回② 各器官	【授業の一般目標】	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
4時限 14:50～16:20	の構造(9) 三叉神経、軟口蓋、脊髄、肺、心臓、前腕伸筋群、足根関節	<p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p><b>【行動目標(SBOs)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上顎神経の分布を説明する。</li> <li>2. 下顎神経の分布を説明する。</li> <li>3. 軟口蓋の構造と機能を説明する。</li> <li>4. 肺の構造を説明する。</li> <li>5. 脊髄の構造を説明する。</li> <li>6. 心臓内部の構造を説明する。</li> </ol> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：三叉神経の分布と機能を復習する。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：20分</li> </ul> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p><b>【学修方略(LS)】</b> 実習</p> <p><b>【場所(教室/実習室)】</b> 102教室、第3実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準(主)】</b> 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/14(火) 3時限 13:10～14:40	第27回① 鼻腔の臨床解剖 各部位の構造(10) 外頸動脈、上顎洞、翼口蓋窩、脾臓、脾臓、外生殖器、前腕屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p><b>【行動目標(SBOs)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 耳鼻科領域の臨床に関する構造を説明する。</li> <li>3. 翼口蓋窩の構造と通過する神経、血管の分布を説明する。</li> <li>4. 外頸動脈の枝を説明する。</li> <li>5. 上顎洞と周囲の神経・血管の構造を説明する。</li> <li>6. 脾臓・脾臓の構造を説明する。</li> <li>7. 骨盤外の生殖器の構造を説明する。</li> </ol> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：上顎神経の走行を調べる。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。</li> <li>・事後学習時間：20分</li> </ul> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p><b>【学修方略(LS)】</b> 実習</p> <p><b>【場所(教室/実習室)】</b> 102教室、第3実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準(主)】</b> 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	*丹羽 秀夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/14 (火) 3時限 13:10~14:40	第27回① 鼻腔の臨床解剖 各部位の構造 (10) 外頸動脈、上顎洞、翼口蓋窩、腭臓、脾臓、外生殖器、前腕屈筋群	⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	*丹羽 秀夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/14 (火) 4時限 14:50~16:20	第27回② 各部位の構造 (10) 外頸動脈、上顎洞、翼口蓋窩、腭臓、脾臓、外生殖器、前腕屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 翼口蓋窩の構造と通過する神経、血管の分布を説明する。 2. 外頸動脈の枝を説明する。 3. 上顎洞と周囲の神経・血管の構造を説明する。 4. 腭臓・脾臓の構造を説明する。 5. 骨盤外の生殖器の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：上顎神経の走行を調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/20 (月) 3時限 13:10~14:40	第28回① 各器官の構造 (11) 顔面神経管、耳、眼窩、喉頭、内生殖器、体肢関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 眼筋と支配神経を説明する。 2. 翼突下顎縫線の構造を説明する。 3. 中耳、内耳の構造と機能を説明する。 4. 喉頭の構造と機能を説明する。 5. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：喉頭について調べる。 ・事前学修時間： 30 分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/20 (月) 3時限 13:10~14:40	第28回① 各器官の構造 (11) 顔面神経管、耳、眼窩、喉頭、内生殖器、体肢関節	<p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 &lt;表情筋&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4)-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/20 (月) 4時限 14:50~16:20	第28回② 各器官の構造 (11) 顔面神経管、耳、眼窩、喉頭、内生殖器、体肢関節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 眼筋と支配神経を説明する。 2. 翼突下顎縫線の構造を説明する。 3. 中耳、内耳の構造と機能を説明する。 4. 喉頭の構造と機能を説明する。 5. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：喉頭について調べる。 ・事前学修時間： 30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間： 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 &lt;表情筋&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4)-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/21 (火) 3時限 13:10~14:40	第29回① 後半総復習	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭部深層の構造を説明する。 2. 頸部深層の構造を説明する。 3. 胸部深層の構造を説明する。 4. 腹部深層の構造を説明する。 5. 上肢・下肢深層の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに割出した構造を再確認する。 ・事前学修時間： 30分</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/21 (火) 3時限 13:10～14:40	第29回① 後半総復習	<p>・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 C-3-4-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/21 (火) 4時限 14:50～16:20	第29回② 後半総復習	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭部深層の構造を説明する。 2. 頸部深層の構造を説明する。 3. 胸部深層の構造を説明する。 4. 腹部深層の構造を説明する。 5. 上肢・下肢深層の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに割出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 C-3-4-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/21 (火) 4時限 14:50～16:20	第29回② 後半総復習	②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 C-3-4）-（8） 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4）-（10） 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4）-（11） 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/28 (火) 2時限 11:10～12:00	平常試験2（第30回）実習試験（筆記試験を含む） 振替時間：13:00-15:30	【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。  【行動目標（SBOs）】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体肢の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。感想文を作成する。（試験開始前に提出） ・事前学修時間：180分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験  【学修方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-（3） 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-（4） 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-（5） 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 C-3-4)-（6） 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4)-（7） 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-（8） 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-（10） 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-（11） 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/28 (火) 3時限 13:00～13:50	平常試験2（第30回）実習試験（筆記試験を含む） 13:00～15:30	【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。  【行動目標（SBOs）】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体肢の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。感想文を作成する。（試験開始前に提出） ・事前学修時間：180分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験  【学修方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/28 (火) 3時限 13:00～13:50	平常試験2 (第30回) 実習試験 (筆記試験を含む) 13:00～15:30	<p>消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/28 (火) 4時限 14:00～14:50	平常試験2 (第30回) 試験の解説講義 15:30～16:00	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体肢の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。 ・事前学修時間: 180分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間: 20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2020/01/29 (水) 2時限 11:10～12:00	納棺 (第30回) 振替日: 1月28日 (火) 16:00-17:00	<p>【授業の一般目標】 解剖実習を通じて学んだ人体構造に関する知識と倫理観を再確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 献体を説明する。 2. 人間の尊厳を説明する。 3. 生と死について説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 献体、人間の尊厳、生と死について復習しておく。ご遺体に供える花束を準備しておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学習項目: 観察した内容を図、アトラス等で確認する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/29 (水) 2時限 11:10～12:00	納棺 (第30回) 振替日: 1月28日 (火) 16:00-17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後学習時間: 20分</li> <li>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニング 有            納棺、清掃をすることから倫理観を考え直す。</li> <li>【学修方略 (LS)】            実習</li> <li>【場所 (教室/実習室)】            102教室、第3実習室</li> <li>【国家試験出題基準 (主)】            必修の基本的事項            1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム            ア 医の倫理、生命倫理            b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</li> <li>【コアカリキュラム】            A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力            A-1 プロフェッショナリズム            A-1-1) 医の倫理と生命倫理            ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。            A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢            A-9-1) 生涯学習への準備            ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。            ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。</li> </ul>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子